



4 他都市の事例

(1) リサイクルへの誘導

仙台市	さいたま市	横浜市
<ul style="list-style-type: none"> 古紙リサイクル業者と連携した事業系紙類回収ステーションの設置(19か所) 事業系生ごみ処理機設置を補助(補助率2/3・上限200万円) 	<ul style="list-style-type: none"> 事業系の機密古紙の受付施設運営(委託) →排出事業者から搬入された機密古紙を保管後、製紙工場に搬入。開封せず段ボールのまま溶解処理。 	<ul style="list-style-type: none"> 焼却工場における「搬入物検査」の実施(全体の約8割) 県内の食品リサイクル施設に関する周知広報

静岡市	名古屋市
<p>協力店ステッカー</p> <p>協力店制度の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品ロス(240店舗) プラスチック(246店舗)  <p>(出典：静岡市HP)</p>	<p>イラストと使用例</p> <ul style="list-style-type: none"> 職場の分別ボックス用イラストの提供 民間の生ごみ資源化施設を紹介  <p>(出典：名古屋市HP)</p>

19

5 次回の審議テーマ

<p>①事業所に対する啓発・指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業所訪問・立入検査 訪問事業者数は増加しているが、悪質な排出事業者に対する、より強い指導が必要 ●事業系ごみに関する周知・情報提供 排出事業者向け講習会などに参加していない排出事業者への周知等が必要 	<p>②工場等での受入体制・指導のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ●違法搬入業者、無許可業者等指導強化 違反物を搬入する業者や、無許可疑いの業者等が多く見受けられ、対策が必要 ●市外からの持ち込み 市外ごみの持ち込みが一定程度あると考えられ、常時搬入車両を確認できる体制が必要
<p>③リサイクルのさらなる促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●リサイクルの受け皿への誘導 市内にはリサイクルの受け皿が整備されているものの、排出事業所から排出されるごみには、分別すればリサイクルできるものが多く含まれており、リサイクルへ誘導する仕組みづくりが必要 	<p>④手数料のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ごみ処理手数料の見直し ごみ処理手数料が周辺都市に比べて割安なため、周辺都市からのごみ流入の一因となっており、対策が必要 <p>新日明工場の建設等に伴い、ごみ処理経費が将来的に20,000円以上になることが見込まれ、排出事業者の受益者負担の検討が必要</p>

20

6 今後のスケジュール(案)

